

令和5年 5月31日

各都市剣道連盟（協会）会長
各 中 学 校 長
各 高 等 学 校 長 殿
各 大 学 長 長

（一財）石川県剣道連盟
会長 南 信 廣
羽咋郡市剣道連盟
会長 濱 辺 正 実
[公印省略]

剣道段位審査会の実施について（案内）

標記の件について、下記の通り実施いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和5年 6月25日（日） 午後13時30分より
(受付 午後12時30分より)
2. 場 所 羽咋体育館（羽咋市鶴多町亀田17番地 0767-22-3312）
3. 審査対象 初段、弐段、参段
但し、初段受審者は審査会当日において、満13歳以上の者で1級取得後90日以上の修業期間があること。
(※令和5年3月30日以前に1級を取得)
受審資格は全剣連段位審査規程による。
4. 審査方法
 - (1) 審査順序
①実技 ②日本剣道形 ③学科(受付で提出した小論文で合否判定)の順序で実施し、その都度合否を発表する。
各順序の不合格者は次に進めない。
 - (2) 審査進行順序
初段女子、初段男子、二段女子、二段男、三段の順に進行する。
 - (3) 切り返し(返し打し)の実施
初段、二段の審査において、実技の前に切り返しを実施する。
 - (4) 日本剣道形
実技合格発表時、日本剣道形の打太刀・仕太刀を指定する。

5. 審査料及び登録料

審査料・登録料については各学校顧問もしくは、郡市剣道連盟（協会）事務局で確認してください

受付時に審査料と登録料の合計金額を納入すること。不合格者については、登録料のみ当日返金する。

※ 石川県剣道連盟記章の斡旋

審査合格者に石川県剣道連盟記章（1,000円）を斡旋するので、合格者は申し出ること。

※ 剣道手帳の斡旋

初段合格者には、剣道手帳を無償配付します。初段以外は500円で斡旋するので、購入の際は申し出ること。

6. 申込方法

(1) 県剣道連盟指定の用紙にて申し込むこと。（再受審者は再受審申込書で）

「審査申込書」は石川県剣道連盟ホームページからダウンロードできる。

但し、「再受審申込書」はダウンロード出来ないので、所属の各連盟等から交付を受けること。

氏名には、フリガナを必ずつけ、押印すること。

(2) 受審申込書には各郡市支部会長の確認印を必要とする。会長印のないものは受付できない。（加盟団体の登録会員の確認のため）

ただし、高校生以下については、所属学校長印があれば、各郡市支部会長印は必要ないものとする。

(3) 式段以上の受審者は、全剣連の整理番号を必ず記入すること。

（合格証に記載。または全日本剣道連盟ホームページからも検索可能。）

(4) 受験者は当日会場で受付を行い、学科小論文の提出、審査料と登録料の合計金額を納入すること。

(5) 不合格者は登録料を当日返金する。

(6) 受審前の級位、前段位取得年月日の虚偽・語記・無記入の場合は、合格取り消しまたは保留となるので、合格証書確認のうえ正しく記入すること。

(7) 取得段級位を石川県外で取得したものは、段位取得証明書または証書の写しを添付すること。

(8) 受審者が2名以下の場合、当該段位の審査は実施しない。（審査を実施しない場合は、当該段位の受審者に事前連絡する。）

7. 申込締切日及び申込先

6月19日（月）必着のこと。以降の申し込みについては受付しない。

《申込先》〒929-0325 河北郡津幡町加賀爪ヲ45

石川県立津幡高校内 松本 悟 あて

※ 電話での問合せ等は「090-2373-9978 松本」まで。

8. 日本剣道形講習会

6月25日（土）14:00～18:00

6月26日（日） 9:00～11:30

※6月24日は羽咋市武道館(〒929-0027 羽咋市鶴多町鶴多田12 TEL 0767-22-6744)、
6月25日は羽咋体育館にて実施する。ただし、会場が変更になる場合もある。

- ・受講者は剣道衣・袴、名札を付けた垂を着用し、木刀・剣道具・筆記具を持参すること。
- ・受講者は受付時に受講料300円を納入すること。
- ・受講者は館内では係員の指示に従って行動すること。館内でのマスクの着用については個人の判断によるものとする。
- ・更衣室の使用は可能であるが、なるべく剣道衣・袴を着用して入館・退館することを推奨する。
- ・必要な者には受付にて「剣道のしおり」（1,000円）の販売をする。

9. 連絡のお願い

各郡市剣道連盟事務取扱の方は、必ず管内の大学、高等学校、中学校、その他関係機関に連絡をお願いいたします。

10. 審査当日の持ち物 剣道用具一式 木刀 筆記用具

※実技審査時、受審者は面マスクを着用するかもしくは面にマウスシールドを装着すること。（アイガードについては任意とする）

※日本剣道形審査はマスクを着用して行う。

11. その他

受審者は、各自健康管理に十分留意して審査会に参加すること。また、竹刀の点検を確実にし、受傷事故の未然防止に努めること。受傷事故などについては、当事者責任とし、主催者は審査実施中傷害発生の場合、応急処置を講じ、病院で治療を受けられるように手配をする。

12. 学科（小論文）

A 4用紙縦 横書きで受審段位、氏名、学校名（学生の場合）を記入し、共通問題、問題1、問題2の合計3問について述べる。

各段共通問題

・「剣道の理念」について述べ、その説明をしなさい。

段別選択問題

〈初段〉

問題1 「切り返しの目的」について述べなさい。

問題2 「気剣体一致」について述べなさい。

〈二段・三段〉

問題1 「間合」について述べなさい。

問題2 「有効打突」について述べなさい。

※各問題については、「剣道のしおり」より出題。

※「剣道のしおり」購入希望者は各郡市剣道連盟または石川県剣道連盟にお問い合わせください。

以上